

「日経転職版 新卒に戻って入りたい会社調査」

1位 三菱商事、2位 伊藤忠商事、3位 トヨタ自動車、グーグル

日経HR（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：齋藤恵）は2024年10月初旬から中旬にかけて、「日経転職版 新卒に戻って入りたい会社調査」を実施し、572人から回答を得ました。新卒の就職環境が過去最高の売り手市場と言われる今、もし新卒に戻れるならどこの会社に入りたいか、社会人経験を経たからこそその会社選びの重視点は何か、今も憧れている職業などについて調べました。

●詳細は「日経転職版」(<https://career.nikkei.com/knowhow/market/003213/>)で公開中！

■新卒に戻って入りたい会社ランキング

○三菱商事が大差で1位。2位伊藤忠、3位トヨタ・グーグル

>>詳細は2ページ

■新卒に戻って入社するなら何を重視する？

○仕事内容、給与がトップ2、福利厚生は低位

>>詳細は3ページ

■新卒に入ることができるなら、今の会社に入る？

○「いいえ」が約8割 教育や柔軟な配属を求める

>>詳細は4ページ

■今も憧れている職業ランキング

○30代「宇宙飛行士」、40代「歌手」、50代「パイロット」

>>詳細は5ページ

問い合わせ先

株式会社日経HR コンテンツ事業本部 TEL：03-6812-7303（担当：高石、町田）

<調査概要>

◎調査対象：「日経転職版」登録会員 ◎調査期間：2024年10月9日～18日

◎調査方法：日経転職版の登録会員を対象にアンケートをメールで依頼し、WEBサイトで回答してもらった。

◎回答者数：572人（男性78.5%、女性21.0%、未回答0.5%）

◎ランキング作成方法：回答者が希望する企業名を1位から3位まで自由形式で記入。順位や年齢等で重みづけをし、合算値の多い順に作成。

■新卒に戻って入りたい会社ランキング 三菱商事が大差で1位に。2位 伊藤忠、3位 トヨタ・グーグル

「もし新卒に戻って入り直せるなら、どこに入社したいですか?」という質問に自由形式で企業名を3つまで挙げてもらい、志望順位や属性にあわせて重みづけをして合計得点の多い順にランキング化しました。

1位三菱商事、2位伊藤忠商事、3位トヨタ自動車、グーグル(同率)、5位三井物産で、トップ5に総合商社が3社入りました。特に、平均年収2000万円超えで話題になった1位の三菱商事は幅広い年代の票を集め、180点で他に大きく差を付けました。入りたい理由には、「成長性、収入、業務領域ともに大きい」(40代男性 不動産)、「日本経済の要となる企業で、グローバルに事業展開している」(50代男性 専門商社)など、収入面のほかに事業領域や成長性などを期待する回答がみられました。

■新卒に戻って入りたい会社ランキング トップ10 (複数回答)

順位	企業名	得点
1	三菱商事	182.4
2	伊藤忠商事	108.6
3	トヨタ自動車	96.2
3	グーグル	96.2
5	三井物産	82.6
6	日立製作所	76.7
7	ソニーグループ	71.1
8	アクセンチュア	51.0
9	リクルート	45.3
10	キーエンス	39.7

(新卒で入りたい理由 自由回答より)

伊藤忠商事:他の商社とは異なり、少ない人員で多くの業務をこなすタフな環境となるため(40代男性 人材サービス)

トヨタ自動車:車だけでなく、幅広い分野で手広く面白い研究をしている。ただ、給料は良くなさそう(40代女性 証券)

グーグル:求められる仕事は大変ではあるだろうが、やりがいも大きそう(30代男性 Webメディア・サービス)

三井物産:5大商社の中でも「人」を重要視する社風、新規事業への積極性がある(20代男性 専門商社)

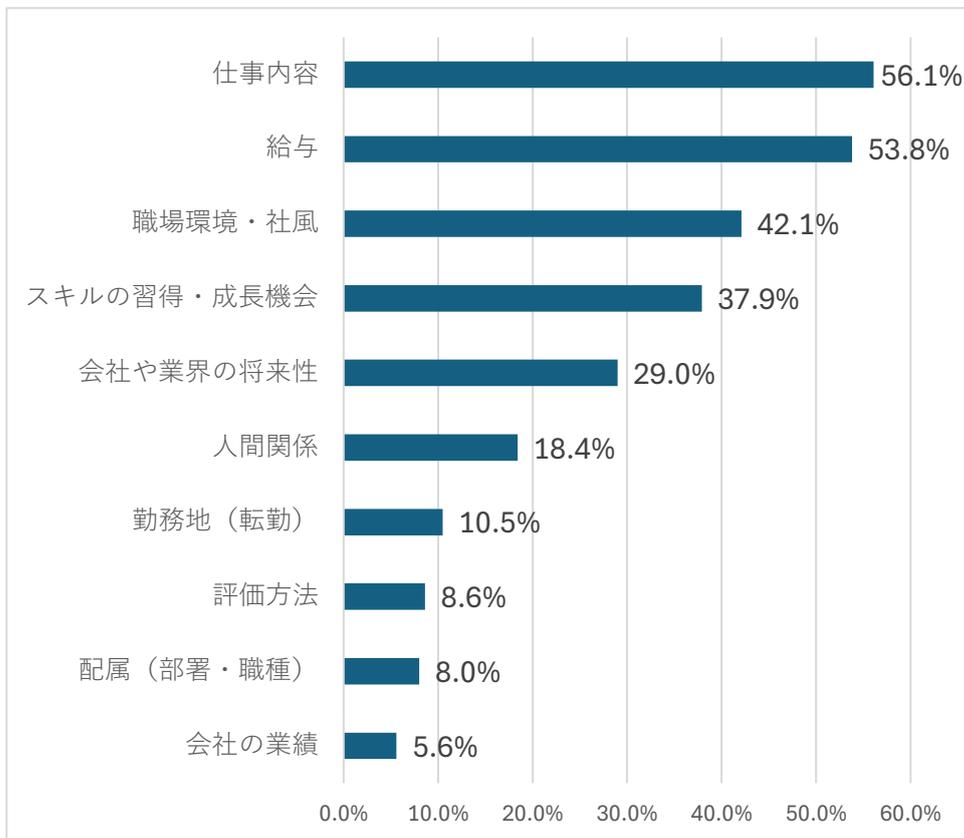
日立製作所:成長できて社風も変革されており、外国人登用なども進んでいて革新的なイメージ(40代男性 専門商社)

■新卒に戻って入社するなら何を重視する？ 仕事内容、給与がトップ2 福利厚生は下位

「新卒に戻って入社するなら何を重視する？」（複数回答、3つまで）を聞いたところ、1位は仕事内容（56.1%）で、2位が給与（53.8%）でした。この2つは、転職活動で優先することとしても多くの人々が挙げる項目です。3位は職場環境・社風（42.1%）、4位にスキルの習得・成長機会（37.9%）が続きます。ファーストキャリアの職場環境、スキル習得や成長機会が、その後の自身のキャリア形成に影響することを実感している人が多いといえそうです。

一方で、働き方を見直したい転職希望者が重視する福利厚生、有給休暇などはトップ10に入りませんでした。働きやすさやワークライフバランスも大切ですが、仕事の経験のない新卒であれば、自分の成長につながる仕事やその機会があるほうを選択して早く力を付けることを優先したい、と考える人が多いようです。

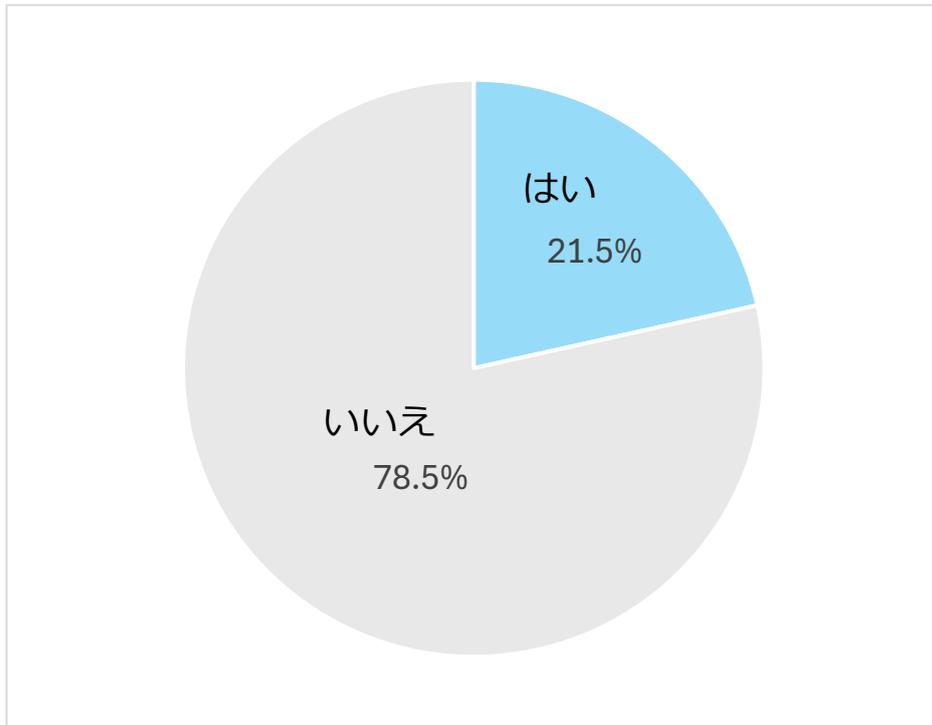
■新卒に戻って入社するなら何を重視する？（複数回答）



■新卒で入ることができるなら、今の会社に入る？
「いいえ」が約8割 教育や柔軟な配属を求める

「新卒で入ることができるなら、今（離職中の方は前職）の会社に入りますか？」という質問では、「いいえ」（78.5%）が約8割となり、「はい」（21.5%）の3倍超でした。

■新卒で入ることができるなら、今の会社に入る？



今の会社に入る理由は、「教育体制が充実」「若くても高いポジションに付ける可能性がある」「ジョブ型雇用が進み、自分の望む職種や部門に就きやすくなった」などが挙がりました。

一方、今の会社に入りたくない理由は、「ワークライフバランスを考慮し業務負荷が軽くなったため、新卒の成長スピードが遅い」「買収による企業カルチャーの変化」など、時代の変化を反映した回答や、「管理職にならないと給料が上がらない給与体系」「成熟市場で発展しにくい」など会社の閉そく感を指摘する声も挙がりました。

新卒で入社する企業には、キャリアにつながる教育制度や柔軟な配属、成長機会を求める人が多いようです。

■今も憧れている職業

30代「宇宙飛行士」、40代「歌手」、50代「パイロット」

子どもの頃に憧れていて今も憧れている職業を3つまで選んでもらい、年代別に集計しました。上位には、起業家、パイロット、医師、弁護士・裁判官・検察官などがランクインしました。

■今も憧れている職業《30代》（複数回答）

1位	宇宙飛行士	14.5%
2位	小説家	13.0%
3位	歌手・ミュージシャン・演奏家	10.1%
3位	起業家	10.1%
3位	医師	10.1%
3位	公務員	10.1%

■今も憧れている職業《40代》（複数回答）

1位	歌手・ミュージシャン・演奏家	14.7%
2位	起業家	13.0%
3位	パイロット	10.9%
4位	弁護士・裁判官・検察官	9.8%
4位	公務員	9.8%

■今も憧れている職業《50代》（複数回答）

1位	パイロット	17.9%
2位	医師	11.9%
3位	弁護士・裁判官・検察官	11.5%
4位	野球選手	11.0%
4位	起業家	11.0%

30代のトップは宇宙飛行士。JAXAによる宇宙飛行士の公募が話題になったように、宇宙には「未知なるものを開拓する」（30代男性 機械・メカトロニクス）魅力があるようです。40代のトップは歌手・ミュージシャン・演奏家で、「感動を『音』で表現できる部分に憧れた」（40代男性 専門商社）、「過去の習い事を生かせる」（40代男性 食品・飲料）などの回答がありました。中には、「宇宙飛行士は今世では諦めた。歌手、俳優は今でもなりたい」（40代男性 公社・官公庁・独立行政法人）といった声も。

50代のトップはパイロット。「大きな乗り物への憧れ」（50代男性 その他）、「飛行機が好き」（50代男性 精密機器・計測機器）など、今もなお強い憧れを感じさせる回答が多く寄せられました。